

令和6年度 富士市立鷹岡小学校 グランドデザイン

小中一貫教育目標（学校教育目標）

自ら学ぶ子

重点目標 自分を、仲間を大切にする子



経営の柱

子供の学びを一緒に楽しむ
「授業づくり」

居心地のよい
「幸せな居場所づくり」

安心・安全な
「信頼される学校づくり」

【研修テーマ】
「分かった」「できた」を
実感できる子

研修の重点…一人一人が見
通しをもてる単元構想

- ・静岡大学の山元先生を招聘し、特別支援の視点による授業づくりについて、研修を深め、実践を積む。
- ・山梨大学の三井先生を招聘し、授業のユニバーサルデザイン化を目指したICTの活用について、アドバイスをいただきながら研修を深める
- ・全てのクラスで、授業のユニバーサルデザイン化を図る
- ・一人一授業公開による、授業改善に向けた課題や方策の検討、共有
- ・家庭学習の主体的な取組の啓発

・相手を思いやる言葉遣いや、相手を尊重するための「さん」「くん」付けの指導

・子供の人権を尊重し、子供理解の上に立った個に寄り添った生徒指導

・生き生き、伸び伸びと自分の力を発揮して、成長し合える環境をさらに整えていく＝“居場所づくり”

“絆づくり” “自己決定”

・子供の内面に深く寄り添うための定期的、日常的な教育相談

・折に触れて子供の言動に価値づけをし、褒める

・自主性を育み、「自分は周りの役に立っている存在である」と感じることができていることを意図した特別活動

・組織で取り組むいじめ、不登校対策

・コミュニティースクール制度を活用した“地域とともにある学校”づくり

・学校評価等、保護者、地域の声を学校運営に反映させる（PDCA サイクルを積極的に回す）

・小中一貫教育の推進

・学校HPを使った、子供たちの学校生活に関する情報の発信

・子供、保護者、地域の方に信頼される職員組織風土の醸成

・自分事として捉え、自戒の意識を生むことのできる、不祥事根絶に向けた研修の定期的な実施

目標数値

◇授業で学習したことが分かる…90%

◇友達と一緒にする学習は楽しい
…95%

◇家での学習を頑張っている…85%

◇学校が楽しい…100%

◇自分にはよいところがあると思う
…85%

◇友達の気持ちを考えて、優しく話すことができる…90%

◇子供は楽しく学校に通っていると答える保護者…100%

◇鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校であると答える保護者…95%

◇お便りや担任からの連絡、学校行事への参加、子供の話等により、学校の様子がよく分かると答える保護者…90%

家庭・地域に開かれた学校づくり

中学校区の連携

◎小中一貫教育の推進

○職員間の交流

- ・職員合同研修の実施
- ・3校校長会、連携推進委員会の定期的な実施

○児童・生徒・職員の交流

- ・合同あいさつ運動
- ・鷹中プロジェクト
- ・中学校からの出前授業

地域との連携

○地域の皆さん、ふれあい協力員さんによるこども支援

○地域の教育力の活用

○地域行事への積極的な参加
地域への情報発信

家庭との連携

○家庭との機を逃さない情報共有

○中学校区で連携したエンジョイメディアストップキャンペーンの実施

○OPTA 組織の見直しと活動の充実